

2024 年度技能五輪全国大会応援ものづくり魅力発信開催委託業務仕様書

1 趣旨

令和6年11月に、第62回技能五輪全国大会（以下「全国大会」という。）が愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）を主会場として実施される。これに伴い、愛知県及び愛知県隣接地域の若年者を主対象として全国大会への来場促進を図るべく、技能並びに全国大会を始めとする技能競技会に関する理解及び関心を深め、技能者応援機運を醸成するための企画を開催する。

本業務は、厚生労働省委託「若年技能者人材育成支援等事業」として、愛知県職業能力開発協会（以下「委託者」という。）が事業者へ委託して実施する。

2 構成

次の2件の企画を開催する。

(1) 事前企画

ア 開催方法

この企画は、公益社団法人愛知県技能士会連合会（以下「愛技連」という。）が主催する「あいち技能プラザ 2024」との併催とする。

（参考）愛技連 Web ページ <http://www.ginou.or.jp/>

「あいち技能プラザ 2023」のチラシ <http://www.ginou.or.jp/plaza/plaza2023.pdf>

イ 開催期間（予定）

令和6年11月16日（土）午前10時から午後5時まで及び17日（日）午前10時から午後4時30分まで

ウ 場所

名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール

〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号

この企画のために使用するエリアは、別添資料1のとおりとする。ただし、愛技連との今後の調整により、位置及び縦横の距離を変更する場合がある。

エ 愛技連との調整

この委託業務の遂行に当たり、受託者は、委託者と協力して愛技連と適時的確な調整を行うものとする。

(2) 当日企画

ア 開催方法

この企画は、愛知県労働局産業人材育成課技能五輪・アビリンピック推進室（以下「技能五輪推進室」という。）との併催とする。

（参考）技能五輪推進室 Web ページ <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/gorin/>

イ 開催日時（予定）

令和6年11月23日（土・祝）午前10時から午後3時まで

ウ 場所

愛知県国際展示場 展示ホールA

〒479-0881 常滑市セントレア5丁目10番1号

この企画のために使用するエリアは、別添資料2のとおりとする。ただし、技能五輪推進室との今後の調整により、位置及び縦横の距離を変更する場合がある。

エ 技能五輪推進室との調整

この委託業務の遂行に当たり、受託者は、委託者と協力して技能五輪推進室と適時的確な調整を行うものとする。

3 目的

この企画の目的は、次のとおりとする。

(1) 第 62 回全国大会参観への誘引

日程：2024 年 11 月 22 日（金）～25 日（月）

会場：愛知県国際展示場（愛知県常滑市セントレア 5 丁目 10-1）他

参考 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/gorin/gorinabi.html>（愛知県の Web サイト）

(2) 企画への来場者の技能五輪国際大会、全国大会、若年者ものづくり競技大会及び技能グランプリ（以下「国際大会等」という。）に対する理解及び関心の促進

参考 <https://worldskills.jp/>（厚生労働省関係の Web サイト）

(3) 企画への来場者の技能に対する理解及び関心を促進し、技能尊重機運の一層の醸成を図り、もって将来のものづくり人材の確保に資する。

4 ターゲット

この企画の集客対象は、若年者（高校生、中学生、小学生とその保護者）等とする。また、その居住又は活動エリアとしては、愛知県及びその隣接地域を想定する。

5 目標

(1) 事前企画

ア 集客数

アンケート回答者数 延べ 600 人以上

イ 満足度（又は有意義度）

90 パーセント以上

ウ 全国大会への誘引率（参観希望と回答した者の割合）

10 パーセント以上

(2) 当日企画

ア 集客数

アンケート回答者数 延べ 600 人以上

イ 満足度（又は有意義度）

90 パーセント以上

(3) 達成状況の評価

目標値は、後述する事業評価検討会議において、効果検証の指標として使用する。

6 委託業務の範囲

委託業務の範囲は、次のとおりとする。契約後、業務遂行に当たり疑義が生じた場合は、委託者と受託者が協議の上決定する。

なお、当該業務に係る総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理は、委託者が行う。

(1) ものづくり魅力発信の企画、制作、運営管理及び評価並びにこれらに必要な人員、体制、設備等の確保

(2) 進捗管理（進捗会議の開催を含む。）

(3) 事業実施計画書の作成・提出

(4) ものづくり魅力発信の広告

(5) 運営マニュアル、進行台本、会場レイアウト等の作成・提出

(6) 事前企画の運営

ア 電源、ステージ、看板等必要な設備の確保、搬入、設置、撤収及び現状復旧

当該設備については、企画実施会場の装飾・施工に係る協賛登録事業者である次の者に委託すること。当該委託費はこの事業費に含めること。また、委託に当たり、必要な設備や工事について漏れのないよう十分調整すること。

株式会社富士工芸社

所在地：愛知県名古屋市中川区吉津5-817

担当者：営業グループ営業開発チームリーダー

電話：052-431-0291

イ ア以外の視覚・音響設備、表示看板類、設備・備品・器具・工具、材料等の確保、搬入、設置及び養生

ウ 進行管理役、出演者、司会進行役、会場整理役、アンケート回収役等必要な人員の確保

エ 混雑緩和のための措置

オ 控室・休憩室の確保（委託者が用意するもの以外に必要な場合に限る。）

カ 管理・運営

進行管理、司会進行、会場整理、会場レイアウト変更（必要時）、視覚・音響機材の運用、カメラ撮影、観客数のカウント、アンケート回答依頼・回収等

キ イに係る撤収及び現状復旧

(7) 当日企画の運営

ア 電源、製作実演用ステージ、展示ブース・体験ブースのパーティション、机、椅子、看板等必要な設備の確保、搬入、設置、撤収及び現状復旧

なお、設備設営については、技能五輪推進室が委託する展示ホールA全体の設営業者と適時的確な調整を行うこと。

イ ア以外の視覚・音響設備、表示看板類、備品・器具・工具、消耗品等の確保、搬入、設置

ウ ものづくり体験、製作実演、高校用ブース等の床面養生

エ 進行管理役、司会進行役、会場整理役、アンケート回収役等必要な人員の確保

オ 混雑緩和のための措置

カ 管理・運営

進行管理、司会進行、会場整理、会場レイアウト変更（必要時）、視覚・音響機材の運用、カメラ撮影、観客数のカウント、アンケート回答依頼・回収等

キ ア、イ及びウに係る撤収及び現状復旧

(8) アンケートの集計（委託者への速報版提出を含む。）

(9) 事業評価検討会議の開催（事業評価検討結果の取りまとめを含む。）

(10) 事業実施結果報告

(11) その他必要な事項

傷害・損害保険等への加入（出演者、スタッフ、体験参加者等を対象とする。委託者が措置するものを除く。）等、企画の開催に伴い必要な措置

7 主要事項説明

(1) 進捗会議

ア 目的

企画を的確かつ効果的に開催するため、次の事項について協議調整する。

- ・事業の進捗状況及び課題の共有
- ・広告及び企画の最適化
- ・愛知県始め関係機関との調整事項
- ・委託者の承認又は確認が必要な事項並びに委託者へ提出する資料等
- ・その他必要な事項

イ 開催頻度

毎月1回以上

ウ 開催方法

原則としてオンライン方式とする。

エ 主催

進捗会議は、受託者主導により開催すること。会議開催に当たり、受託者は、会議資料を取りまとめること。会議結果は、別に指定する日までに委託者に提出すること。

(2) 事業実施計画書

ア 内容及び規格

企画提案書に順じた内容及び規格とする。

イ 委託者の承認

別に指定する日までに委託者に提出し、その承認を得ること。

ウ 時点修正及び再提出

承認後の内容変更について、必要に応じ随時時点修正を行うこと。なお、委託者から指示があった場合は、最新版を提出すること。

(3) 広告

ア 媒体・方法・期間等

企画への誘引のため、ターゲットへの訴求力の観点から効果的な媒体、方法、内容及び期間による広告を行うこと。

(イ) 広告チラシの制作

広告チラシは、委託者及び委託者の関係機関・団体で使用（配布、Web ページへの掲載等）する予定であるため、別に指定する数量の印刷物及び画像データを指定する日までにPDF で委託者に納入すること。併せて、別途協議の上決定する期間内において、委託者や関係団体での使用が可能となるよう、著作権、肖像権等について調整すること。

次の2種類を必ず制作すること。

- a 事前企画及び当日企画併記チラシ
- b 当日企画のみのチラシ

(イ) 広告媒体・方法の例示

小中学生へのチラシ配布、SNS、駅や地下街のデジタル・サイネージ、交通広告など。

(ウ) 広告期間

事前企画及び当日企画へのターゲット誘引のため、効果的な場所及び期間を設定すること。

イ 厚生労働省委託事業の明示

「厚生労働省委託 若年技能者人材育成支援等事業」の語句及び別途提供する厚生労働省ロゴを、可能な範囲で広告コンテンツに明記すること。

ウ 委託者の事前承認

広告の媒体、方法、内容、期間等については、事前に委託者の承認を得ること。

(4) 事前企画の内容

ア 要旨

「あいち技能プラザ 2024」が開催される吹上ホールの一部を使用して、ものづくりをテーマとした製作実演、体験、基調講演、パネルディスカッションなど（以下「アトラクション」という。）を実施する。

なお、併催の「あいち技能プラザ 2024」において実施されるものづくり体験及び展示の内容と重複しないようにするとともに、このアトラクションが単なる体験や展示に留まらない内容とすること。

また、事前企画の総称を提案すること。

イ アトラクションの構成及び内容

(ア) メインアトラクション

芸能人、著名人、インフルエンサーなど（以下「タレント」という。）が出演するアトラクションを実施すること。

メインアトラクションの時間は1時間程度とし、両日とも午前・午後各1回以上、2日間で4回以上実施すること。

起用するタレントは、ターゲットの企画への誘引及び観客への訴求が大いに期待でき、かつものづくりの魅力、意義等が説明できる者とする。アトラクションごとに、タレントを変更することも可能とする。

アトラクションの内容は、ターゲットの誘引が大いに期待できるものとし、技能及び国際大会等の技能競技会に対する観客の理解や関心を深め、技能者への共感（親近感、必要性や貢献度の認識等）を高めるよう工夫すること。

各アトラクションの名称を提案すること。

【内容の例】

- ・タレントが、厚生労働省認定ものづくりマイスター（注。以下「マイスター」という。）から指導を受けた後、過去の国際大会等出場経験者とのものづくり競技を行い、感想を述べる。その後、ものづくりの難しさや楽しさ、やりがい、全国大会での競技内容について、マイスターなどとの掛け合いにより観客に印象付ける。
- ・漫才のネタ作りや役作り、表現技術、演出等とのものづくりとの共通点、技術や考え方の応用の可能性に関するトークなどにより、観客に、技能のすばらしさを印象付ける。
- ・マイスターを起用する場合、職種は、洋菓子製造、和菓子製造、建築大工、左官、工場板金、和裁、印章彫刻等、愛知県におけるマイスター登録者から想定すること。

注 ものづくりマイスターとは、建設系及び製造系の112の職種別に認定を受けた、優れた技能、実務経験があり若手技能者の指導ができる熟練技能者のこと。

詳細は、次のWebページ（厚生労働省のサイト）を参照のこと。

<https://monozukuri-meister.mhlw.go.jp/mm/mm/contents/home/>

(イ) その他のアトラクション

その他のアトラクションは、メインのアトラクションの間の時間帯に実施すること。

内容は、ターゲットの誘引が大いに期待できるものとし、技能及び全国大会等の技能競技会に対する観客の理解や関心を深め、技能者への共感（親近感、必要性や貢献度の認識等）を高めるよう工夫すること。

各アトラクションの名称を提案すること。

なお、その他のアトラクションに関し、委託者において、11月16日（土）午後1時から午後2時までの予定でJAXA役職員出演について交渉しており、5月下旬以降に回答を得る予定となっている。JAXA役職員の出演が可能となった場合は、契約後に同日時のアトラクションの差し替えを行うこと。

【内容の例】

- ・マイスターや技能者の製作実演により、技能のすばらしさ、作品の美しさなどを観客に印象付ける。
- ・観客（子どもなど）をステージに上げてものづくり競技をさせ、感想を聞く。最後に、評価に応じたグッズをプレゼントする。
- ・過去の国際大会等参加選手、工業高校等の学生・生徒によるディスカッションや、子供向けのものづくり体験指導などを行う。

(ウ) 全国大会参観への誘引及び国際大会等の周知

可能な範囲で、事前企画の参加者に全国大会を参観させるための動機付けを行うこと（例 事前企画におけるグッズの引換券配付など）。

また、全体として、国際大会等の競技会に関する観客の理解や関心を深めるとともに、技能者応援機運を高めるよう工夫すること。なお、全国大会等の過去のダイジェスト動画を上映することが可能であるので、参考とすること。

<https://worldskills.jp/nationalskills/>（厚労省のサイト）

また、国際大会等のPRも行うこと。

<https://worldskills.jp/>（厚労省のサイト）

(エ) 視覚・音響効果

アトラクションは、ステージ上で行うこと。タレント、技能者等の手技、作品等をスクリーンに映し、音響を活用して観客に訴求すること。

(オ) 進行管理及び司会進行

すべてのアトラクションについて、進行管理役、司会進行役その他必要なスタッフを配置すること。

(カ) 混雑緩和対策

入場待ち客の多寡に応じて待ちエリアを設けるか又は整理券を配布するなど、混雑緩和対策を講じること。なお、占用できるエリアに限りがあることに注意すること。

(キ) 厚生労働省委託事業の明示

会場に、「厚生労働省委託 若年技能者人材育成支援等事業」の語句及び別途提供する厚生労働省ロゴを表示するとともに、アトラクションの際に紹介するなどにより、観客に銘記させること。

ウ アンケートの実施

アトラクションの観客から、アンケートを取得すること。なお、数値目標に対する実績は、アンケートの回収数となることに留意すること。

アンケートは、回答者属性以外は5項目程度とし、A4判1ページに収まることを想定する。内容は、委託者及び受託者が協議の上決定する。

なお、アンケート結果は、事業評価検討会議において、広告及び企画の効果検証や改善点の検討に利用することとなる。このため、アンケート項目は、効果検証及び改善点の分析が容易な構成とする必要がある。

エ 記録

(ア) 観客数のカウント

アトラクションごとに、観客数（立ち見客を含む。）をカウント（目視で可）すること。

(イ) 写真撮影

会場風景及び全てのアトラクションの実施状況を写真撮影すること。

オ 委託者の事前確認

運営マニュアル、進行台本、会場レイアウト、混雑緩和対策等について、事前に委託者の確認を得ること。

カ 会場設営に係る注意事項

11月16日（土）は、午前9時30分から午前10時まで、愛技連が「技能プラザ2024」の開会式（関係者のみ出席）を行うため、ステージその他の設備を使用する。このため、午前9時30分までに設営を完了すること。

(5) 当日企画の内容

ア 要旨

愛知県国際展示場展示ホールAの一角を使用して、マイスター等によるものづくり体験会、製作実演及び展示を実施する。

なお、当日企画の総称を提案すること。

イ 趣旨及び留意事項

当日企画は、マイスター等の技能を直に見せること、参加者に体験させることにより、当該職業・職種及び技能の高さやものづくりの魅力等を感じてもらえる内容とし、将来の職業像がイメージできるものとするに留意し、マイスター等による実演又は体験がどのように職業に結びつくのか、当該職業で必要とされる技術のどの部分を習得・体験しているのかについて、参加者に理解させるねらいがある。このため、受託者は、製作実演等において次の事項を参加者に印象付けるよう演出すること。

(ア) マイスター等の職業・仕事内容の紹介

(イ) マイスター等の実演・ものづくり体験の内容が当該職種の職業像にどのように結びつくのか。

ウ 企画の構成

実施時間は、午前10時から午後3時までの5時間とする。

内容は、契約後委託者が指定する。

現時点で想定している内容は次のとおりであり、今回の提案では、この想定に基づき会場レイアウトを設計すること。

なお、体験や製作実演の所要スペースは、今後の調整に伴い拡張が予想されることから、確定した内容に基づき会場レイアウトを再設計すること。

(ア) マイスター等によるものづくり体験及び製作実演

現在想定している内容は、次表のとおり。なお、今後の調整により、変更する場合がある。

区 分	職 種	製作又は体験内容	備 考
製作体験 来場者が、マイスター等の指導の下にものづくり体験をする。（3職種を想定）	家具製作	革製コインパース等	1ブース当たりの面積は、7m×7mを想定。指導者席及び製作スペースを設ける。製作スペースには、作業台及び椅子を配置する。各ブース12席程度を目安とする。
	フラワー装飾	コサージュ	
	食品サンプル製作	イチゴパフェのサンプル	
技の体験 来場者が、マイスターの技を学び、自身で体験する。	建築大工	カンナがけ、電動ドリルなど	1ブース当たりの面積は、7m×10mを想定。指導者席及び体験スペースを設ける。体験スペースはオープンとし、その造作は、マイスター等が設営する。
	かわらぶき	かわらぶき	
	左官	壁塗り	
製作実演 観客にマイスター等の技のすばらしさを実感させる。	建築大工	檜カンナなどの大工道具を使った実演	実演スペースに小規模な視覚機器及び音響機器を配置。カメラで手技や作品を写す。観客席は120席程度とする。
	和菓子製造	和菓子製作の実演	
	フラワー装飾	未定	
	未定	未定	

製作実演の内容及び出演者は、次のとおり想定している。

①建築大工（檜かんなどの実演）

マイスター等5名程度（委託者が指定する者を含む。）

②和菓子製造（伝統和菓子及びモダンなキャラクター和菓子の製作実演）

マイスター等4名程度（委託者が指定する者を含む。）

③フラワー装飾（出演者及び内容未定）

④未定（出演者及び内容未定）

(イ) 高校等のブース

内容未定。4ブースを予定している。1ブース当たりの面積は、6m×5m程度を想定する。各ブースには、体験者用として机4脚、椅子10脚を備えること。ブース内の器具等の設置は、原則としてブースの利用者が行うが、受託者にその補助を求める場合がある。詳細は、契約後に調整する。

(ウ) 展示ブース

数量として、委託者と愛知県の2ブースを予定している。1ブース当たりの面積は、5m×4m程度を想定する。

各ブースには、ビデオ上映のため、小規模な視聴覚機器（モニター、ビデオ再生機、スピーカー等）を1セットずつ用意すること。

各ブースに、チラシ配架用のテーブル、掲示用レール等を設置すること。参観者用として椅子6席程度を設けること。なお、ブース内へのパネル等の設置は、原則としてブースの利用者が行うが、受託者にその補助を求める場合がある。詳細は、契約後に調整する。

展示内容は、次のとおり想定している。

a 委託者

国際大会等のポスターやパネル掲示、過去の技能五輪全国大会ハイライトビデオ上映、技能検定等のチラシ配架等

b 愛知県

県制作のポスターやパネル掲示、チラシ配架、アイチータ着ぐるみ起用

(エ) 来場者休憩用スペース

会場内に、来場者休憩スペースを複数箇所設けること。全体として、90脚程度の椅子を配置すること。

(オ) バックヤード

材料・資材等の一時保管、製作実演の準備、着ぐるみの脱着、スタッフの休憩等のためのバックヤードを設けること。

エ 企画を効果的なものとする工夫

(ア) 会場レイアウト

会場レイアウトについて、例えば「技の体験エリア」、「製作体験エリア」、「製作実演エリア」及び「展示エリア」に分けるなど、来場者の動線を考慮し、体験しやすいデザインとすること。なお、各エリア内をベルトパーテーションで区割りするなど、領域が視認しやすいよう工夫すること。

(イ) 自発的・積極的な参観・体験の促し

来場者（子ども）が、積極的に製作実演の参観やものづくり体験をするよう促すとともに、一人が同じ職種のものづくり体験を2回以上利用しないよう工夫すること。

例 次の条件をクリアした小中学生等に、「ジュニアマイスター賞状」と記念品をプレゼントする。

【条件】展示ブース2か所参観＋製作実演参観1回＋製作体験1職種＋技の体験のすべての職種を体験

なお、スタンプカードや記念品の配布カウンターを設置する場合は、受託者にて設置・運営（スタンプの製作を含む。）を行うこと。

(ウ) 製作実演に係る演出等

製作実演は、ステージ上（簡易なもので可）で行うこと。

実演時間は、1職種について1時間程度とすること。

進行管理役、司会進行役、カメラマン、アンケート配布・回収役その他必要なスタッフを配置すること。

マイスターの手技、作品等をスクリーンに映し、音響を活用して観客に訴求すること。

また、技能に対する観客の理解や関心を深め、技能者への共感（親近感、必要性や貢献度の認識等）を高めるよう演出すること。

実演とともに、技能者の想い^(注)をMCとの掛け合いで観客に聞かせるなどにより、ものづくりの魅力や技能のすばらしさを訴求するよう工夫すること。

注 当該職業に就いた動機、仕事をする上で心がけていること、顧客との接し方、失敗談、やりがい、職業観等

(エ) 混雑緩和対策

事前企画に準じる。なお、ものづくり体験の待ちが集中した場合は、整理券を配布するなどの対策を講じること。

(オ) 案内表示の設置

来場者が、製作実演、ものづくり体験等の場所、内容、時間、出演者等が視認できるよう、会場付近及び会場内に案内パネルを設置すること。

(カ) 厚生労働省委託事業の明示

事前企画に準じる。

オ アンケートの実施

内容等については、事前企画に準じる。

なお、製作実演でのアンケート記入依頼及び回収は受託者が行うものとし、それ以外の製作体験、技の体験及び高校生の各ブースにあつては、原則としてマイスター又は高校生が行うこととする。

カ 記録

(ア) 観客数のカウント

製作実演ごとに、観客数（立ち見客を含む。）をカウント（目視で可）すること。

(イ) 写真撮影

会場風景及び全てのものづくり体験会、製作実演及び展示の実施状況を写真撮影すること。

キ 会場設営に係る注意事項

事前企画等においてグッズの引換券を配布する場合など、当日企画の際に窓口を設ける必要がある場合は、受託者において受付カウンターの設置及び必要な人員配置をすること。

また、ものづくり体験等のブースは、遮音のためパーティションで区画すること。

ク 委託者の事前確認

事前企画に準じる。

(5) 事業評価検討会議

ア 目的

次の事項について、情報共有、検討、協議及び評価を行う。

- ・アンケートの回答内容、目標達成状況等の共有
- ・広告の効果検証
- ・企画（事前及び当日）の効果検証
- ・全般的な評価
- ・今後に向けた改善点
- ・その他必要な事項

イ 開催期限

令和6年12月6日（金）

ウ 方法

原則としてオンライン会議とする。

エ 主催

事業評価検討会議は、受託者が主導して開催すること。会議開催に当たり、受託者は、会議資料を取りまとめること。会議結果は、別に指定する日までに委託者に提出すること。

オ 事業実施結果報告書への反映

事業評価検討会議結果を取りまとめ、事業実施結果報告書に編纂すること。

(6) 事業実施結果報告書

ア 内容

事業実施結果報告書には、次の内容を含めること。

(ア) 事業実施計画

事業実施計画書の内容を最新化し、編纂すること。全体スケジュールには、予定と実績を併記すること。

(イ) 広告実績

媒体及び方法ごとに、内容（デザイン）、期間、数量等の実績を記載すること。なお、視聴数、アクセス数等が取得できる場合はその数値を記載すること。

(ウ) 企画の開催状況（事前及び当日）

- ・会場平面図
- ・当日タイムテーブル
- ・アトラクション及び製作実演ごとの観客数
- ・風景写真（設備設置状況（開始前）について５点以上、アトラクション、体験ブース及び製作体験ごとに８点以上）
- ・設備及び材料一覧
- ・その他必要な資料（運営マニュアル、進行台本等）

(エ) 目標達成状況

- ・目標値及び実績値
- ・アンケート集計結果

(オ) 評価及び改善点

事業評価検討会議の結果を取りまとめて記載すること。

(カ) 所要費用明細書

項目の構成は、別に指定する経費積算書（企画提案書に添付するもの。）に準じた内容とする。

イ 規格及び数量

(ア) サイズ

企画提案書に準じる。

(イ) 納品物

紙印刷物２部（カラー印刷）及びその電子データを記録した CD 又は DVD １枚

ウ 提出期限

別に指定する日

エ その他

提出された事業実施結果報告書の内容について、委託者は、修正を指示する場合がある。

(7) 提出書類一覧

受託者は、次の書類を作成し、委託者に提出すること。

なお、委託者は、本表に示す書類以外について受託者に提出を求めることがある。

題 名	内 容	媒体及び数量	提出期限
事業実施計画書	内容及び規格は、企画提案書に準じる。なお、内容は、随時時点更新すること。	紙印刷物 2 部及び電子ファイル一式	契約締結後 10 営業日以内。その後、内容の変更（軽微なものは除く。）が生じた場合は、その都度更新して提出
進捗会議結果報告書	議事録及び会議資料	電子ファイル 1 式	会議開催日から 5 営業日以内
広報物	デザイン、媒体、形状等	電子ファイル 1 式	可能な時期
広告チラシ（事前・当日企画併記）	デザイン	紙印刷物 1,000 部及び電子ファイル一式	令和 6 年 9 月 13 日
広告チラシ（当日企画のみ）	デザイン	紙印刷物 500 部及び電子ファイル一式	同上
運営マニュアル等（事前企画、当日企画）	運営マニュアル、進行台本、会場レイアウト、タイムテーブル等	紙印刷物 2 部及び電子ファイル一式	可能な時期
アンケート集計結果（速報版）	カウントした観客数及びアンケート結果を、アクション別及び全体で集計（自由意見の一覧を含む。）	紙印刷物 2 部及び電子ファイル一式	令和 6 年 11 月 29 日
事業評価検討会議結果報告書	議事録及び会議資料	電子ファイル一式	会議開催日から 7 営業日以内
事業実施結果報告書	別に指定する内容	紙印刷物 2 部及び電子ファイル一式を記録した CD 又は DVD 1 枚	令和 6 年 12 月 20 日
その他	上記以外に委託者から提出を求められた書類	別に指示する方法	別に指定する時期

注 1 上記の日程は、委託者と受託者が協議の上、変更する場合がある。

2 電子ファイルの提出方法について、明示がないものはファイル共有又はメール添付によること。メール添付の場合は、必ずファイルの暗号化及びパスワード保護を行うこと。

(8) 費用負担

ア 委託者が負担する費用

次の費用は、委託者が負担する。

(7) 事前企画関係

- a 占用エリア（委託者が指定する範囲に限る。）に係る会場使用料
- b 控室（委託者が指定するステージ裏の部屋）に係る使用料
- c 駐車場の使用料及び警備料

駐車場は、名古屋市中小企業振興会館駐車場において、受託者が使用可能なものとして委託者が指定したエリア及び時間帯に限る。不足の場合は、受託者の負担により確保すること。

d 光熱水費

(イ) 当日企画関係

a 占用エリア（委託者が指定する範囲に限る。）に係る会場使用料

b マイスター等の謝金及び旅費（事前打合せに要するものを含む。）

c 製作実演及びものづくり体験に係る材料費

なお、事前企画に係るマイスター等の謝金及び旅費並びに材料費については、受託者負担となることに留意すること。

d 展示ブースに展示するコンテンツの確保及び搬入・搬出に要する経費

e 光熱水費

(ウ) その他、愛技連又は技能五輪推進室が一時負担する費用のうち、この企画の開催に必要な経費

イ 受託者が委託費の中で負担する費用

この企画の開催に必要な経費のうち、アを除くすべての経費とする。

なお、出演者（タレントを除く。）に支払う謝金及び旅費並びに製作実演及びものづくり体験に使用する材料費は、厚生労働省の規定等に基づき、原則として次の額とする。出演者が著名人である等の事情によりこれにより難い場合は、委託者と受託者が協議して決定するものとする。

(ア) 謝金（いずれも消費税別）

a マイスター

(a) 現代の名工等に認定されている者

現代の名工又は全技連マイスターに認定されている者その他委託者が認めた者については、次の謝金単価を適用する。

日額 21,000 円。ただし、活動時間が 2 時間以上 3 時間未満の場合は 14,000 円、1 時間以上 2 時間未満の場合は 7,000 円（活動時間には、準備や後片付けの時間を含まない。以下「謝金」について同じ。）

(b) その他の者

(a) 以外の者については、次の謝金単価を適用する。

日額 18,300 円。ただし、活動時間が 2 時間以上 3 時間未満の場合は 12,200 円、1 時間以上 2 時間未満の場合は 6,100 円

(c) 事前打ち合わせに係る費用

マイスターと事前打合せを行った場合は、(a) 又は (b) の区分により謝金を支払うこと。ただし、1 回当たりの上限は、2 時間の額とする。また、回数は、一つのアトラクション、製作実演等につき 2 回を上限とする。

b 補助者

次の謝金単価を適用する。

日額 8,100 円。ただし、活動時間が 2 時間以上 3 時間未満の場合は 5,400 円、1 時間以上 2 時間未満の場合は 2,700 円

c a 及び b 以外の者

次の謝金単価を適用する。

(a) 講演者、パネラー及び製作実演者（ステージ上で行う場合に限る。）

日額上限 50,000 円

- (b) ものづくり体験の指導者（マイスターに準じる技能を有する者に限る。）

日額 13,500 円。ただし、2 時間以上 3 時間未満の場合は 9,000 円、1 時間以上 2 時間未満の場合は 4,500 円

なお、当該者と事前打合せを行った場合は、同様に謝金を支払うこと。ただし、上限は 2 時間までの額とする。また、回数は、一つのアトラクション、製作実演等につき 2 回を上限とする。

- (c) 県内高校生等によるものづくり体験会

1 ブース当たり 10 万円（消費税別）とする。なお、この金額には、当該ブースで行う催事の運営に係る一切の経費（機材費、運搬費、材料費、高校生等の交通費を含む。）が含まれることに留意すること。

- (i) 旅費（消費税込み。）

運賃、有料道路代、駐車場代及びタクシー代並びに宿泊費は、原則として実費を支給する。

なお、有料道路代、駐車場代及びタクシー代並びに宿泊費は、原則として領収書等（写しで可）の提出により実費額を確認するものとする。

自家用車使用の場合は、1km 当たり 25 円で計算した車賃を支給する。

- (u) 材料費上限（いずれも消費税別）

a 製作実演

- (a) ステージで実施する場合

1 回当たり 50,000 円

- (b) (a) 以外の場所で実施する場合

1 回当たり 5,000 円

b ものづくり体験

一人 1 回当たり 1,500 円

8 その他の注意事項

- (1) 関係機関・団体との調整

広告及び企画の開催に必要な調整及び交渉は、受託者が主体的に実施すること（マイスター及びその補助者に対する出演交渉は除く。製作実演等の内容に関する調整を含む。）。なお、委託者は、可能な範囲でこれを支援する（例 文書等による相手方への協力依頼、訪問時の同行など）。

- (2) 厚生労働省への報告

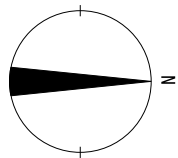
受託者から委託者に提出された資料は、厚生労働省と委託者との委託契約に基づき、厚生労働省に提出する場合がある。

9 契約後の事業内容変更

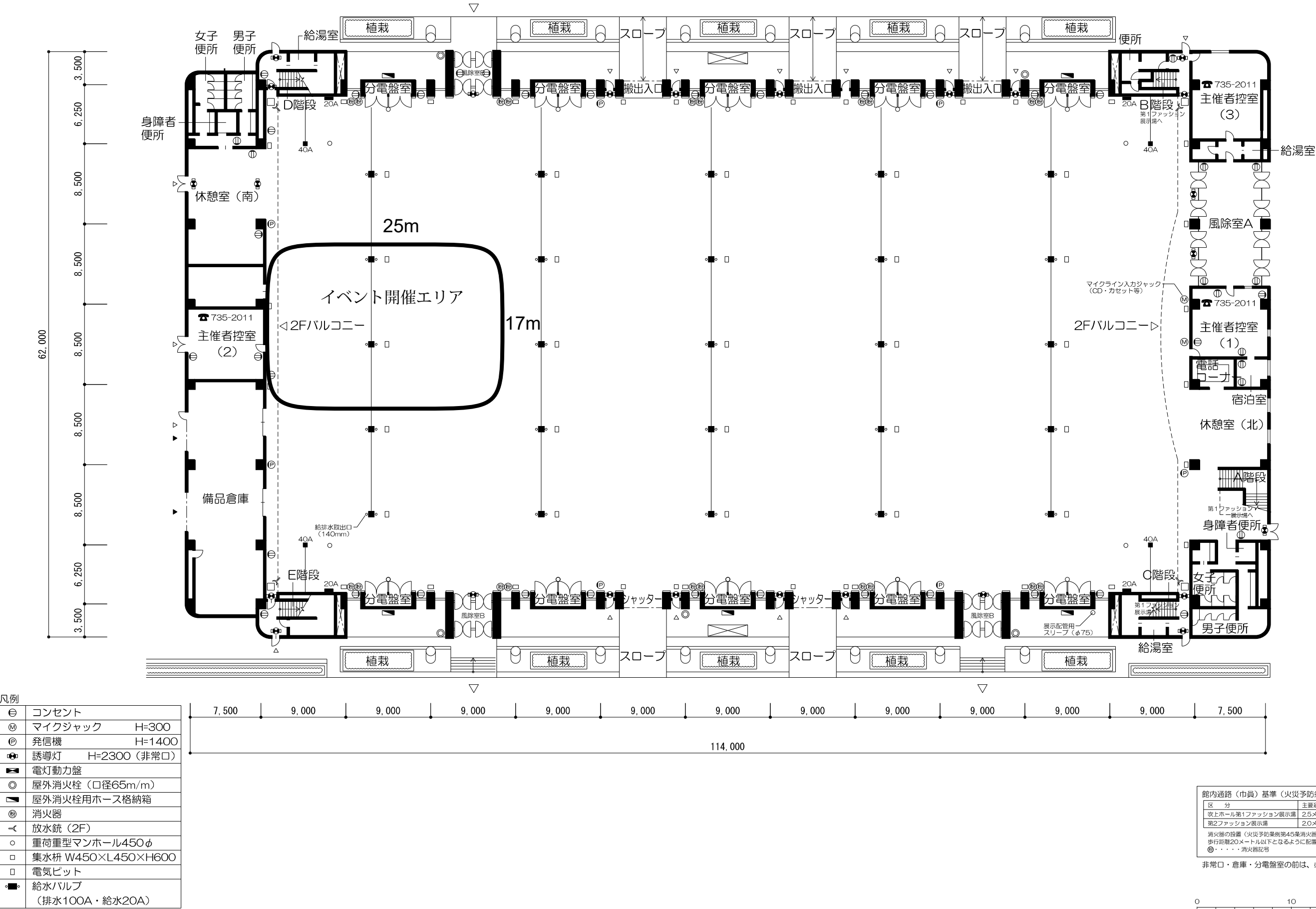
契約後、受託者の責に帰すべきでない事情により事業内容を変更（所属事務所等の事情によるタレントのキャンセルや、より効果的な企画にするための改善等）する場合は、契約金額内において委託者と受託者が協議して決定する。なお、受託者は、企画提案と同等以上の効果が得られるよう最大限の努力を払うものとする。

吹上ホール

S=1:400



資料 1



凡例

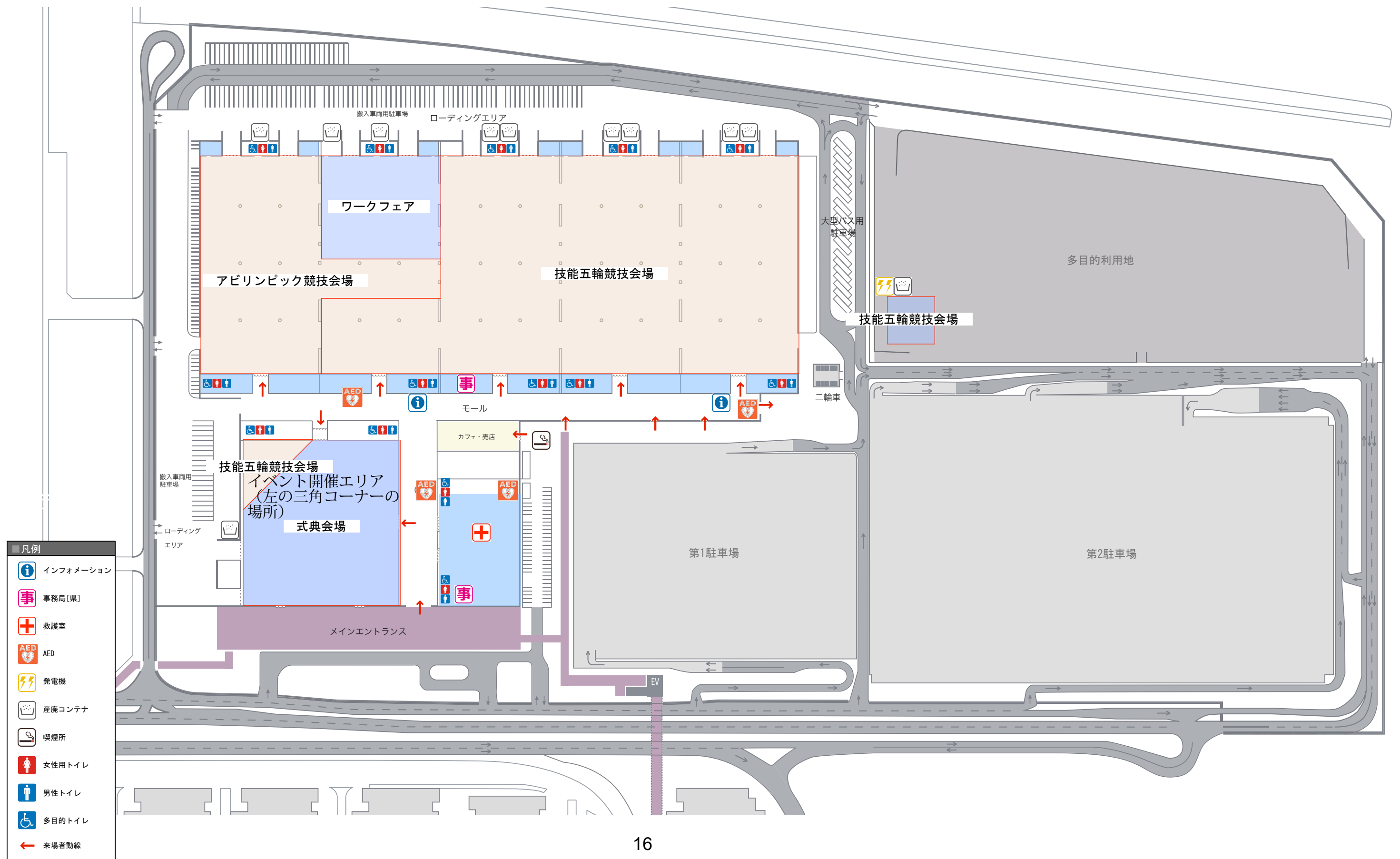
⊖	コンセント
Ⓜ	マイクジャック H=300
Ⓢ	発信機 H=1400
Ⓡ	誘導灯 H=2300 (非常口)
Ⓢ	電灯動力盤
Ⓢ	屋外消火栓 (口径65m/m)
Ⓢ	屋外消火栓用ホース格納箱
Ⓢ	消火器
Ⓢ	放水銃 (2F)
○	重荷重型マンホール450φ
□	集水枡 W450×L450×H600
□	電気ビット
■	給水バルブ (排水100A・給水20A)

館内通路 (巾員) 基準 (火災予防条例第61条避難通路)

区分	主要避難通路	補助避難通路
吹上ホール第1ファッション展示場	2.5メートル以上	2.0メートル以上
第2ファッション展示場	2.0メートル以上	1.6メートル以上

消火器の設置 (火災予防条例第45条消火器)
歩行距離20メートル以下となるように配置すること
●・・・消火器記号

非常口・倉庫・分電盤室の前は、必ずあけて下さい。



当日企画開催場所平面図（記載例）

